

平成 29 年 10 月総務企画委員会 議事概要

H29. 10. 23 作成

日 時：平成 29 年 10 月 17 日（火） 18：00～19：30

会 場：建築士会会議室

出 席：

（業務執行理事兼委員長）芝 京子 （副委員長）山成 芳直

（委 員）天神 正志、長田 喜樹、玉野 直美、
沼田 有二、村島 正章、八重野みどり

オブザーバー：須藤専務理事

<確認事項>

1 前回(9/19)議事録の確認【資料1】

- ・異議なく了承

<協議事項>

1 平成 30 年賀詞交歓会について【資料2】

- ・委員から企画案を説明。新規合格者のうち、情報登録して「お試し会員」となった者について、新規入会者に準じて賀詞交歓会へ招待してはどうかとの論点に関しては、一同「入会促進のためには支障ないのではないか」で一致。

（質疑）

（委員）・料理については、食べきれずにだいぶ残ったとの印象。品目や内容を見直してはどうか。

（専務理事）・内容等に注文があるならば、総務企画委員会で直接会場のナビオスと交渉してもらうのも一法だ。

2 その他

- ・特になし

<報告事項>

1 日弁連アンケート(4号特例の廃止等木造住宅の規制強化)について【資料3】

- ・委員から、アンケートの背景(4月のシンポジウムや日経ホームビルダー連載記事等)を説明。各県士会単独で回答するのは不適切(連合会による回答が筋)だが、本県士会内部で議論しておくべきテーマであり、統一見解が得られなくとも技術支援委員会等の場に紹介してほしいと提案。

（委員長）・個人的には重要なテーマと思う。4号特例の弊害を特に感じるのは基礎の設計。設計図書を要求されないからチェックしていないという設計者も少なからず存在。それでいいのか疑問。

2 その他

(1) 入会案内活動の実績について【資料4】

- ・委員から、過去6年間の新規合格者と入会者の比率等のデータを紹介。

（委員長）・平成 28 年度合格者については、総務企画委員会委員を中心に、若干の役員を加えて案内活動を実施したが、今年度は他の委員会や支部にも呼び掛けて会全体で取り組みたいもの。次回の 11 月委員会で分担シフト表を議論し、12 月初旬からの案内活動にあたるよう、準備を進めたい。

(2) 賛助会講習会について

- ・担当委員から、10/23のB I M講習会について協力要請。

(副委員長)・設計実務に直接結びつくテーマのほか、地元建築士として承知しておきたい建築関連のおおきな流れも講習テーマにしてはどうか。たとえば、横浜港関係では、船舶燃料のL N G化に伴う様々な動きが今後出てくるはず。

- ・他の賛助会員社にも関連するところがあるだろうから、ジョイントでの開催も考えられる。

(3) その他

- ・委員長から、「9/22理事会において会員増強担当副会長から「会員増強のための取り組み」の提案があったが、当委員会でも率先して実行したい」との呼びかけあり。

<その他>

次回以降の委員会について

平成29年 11月21日(火) 18:00～

12月19日(火) 18:00～

終了後忘年会を予定